

みのぶ 社協だより

2023 夏号 Vol.37

令和5年8月31日発行

社会福祉法人 身延町社会福祉協議会
〒409-2523 南巨摩郡身延町波木井 272-1
TEL 0556-62-3773
FAX 0556-62-3777
<http://www.minobushakyo.jp/>



会長就任挨拶



身延町社会福祉協議会
会長 深沢 道康

この度、6月16日の第2回理事会において、身延町社会福祉協議会の会長に選任されました深沢でございます。就任に際しましては、その職責の重大さを痛感しており、身の引き締まる思いであります。

身延町の福祉の現状と社協で行っている事業の現状を分析し、課題を明らかにし、一つひとつ解決していくことで、更なる福祉の向上を図っていきます。そして、町民の皆様から多くの意見を求め、常に必要とされる社協を目指し、管理体制の強化、法令の遵守に社協役職員一同、日々努めてまいります。

皆様方のご理解とご協力、そしてご支援を切にお願い申し上げます。まして、就任の挨拶とさせていただきます。

役員紹介

役員改選により、次の方々が選任されました。（敬称略）

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
会長	深沢 道康（上田原）	地域住民	評議員	赤池 一博（釜 額）	地域住民
副会長	土橋 一彦（飯 富）	地域住民	〃	磯野 祥子（岩 欠）	地域住民
〃	上田 本幸（下 山）	民生委員	〃	伊藤 等（下田原）	地域住民
理事	遠藤 一夫（上之平）	地域住民	〃	深澤 香（大 塩）	地域住民
〃	深沢 拓（手打沢）	地域住民	〃	藤田かをる（波木井）	地域住民
〃	千頭和勝彦（横根中）	地域住民	〃	依田 二郎（梅 平）	地域住民
〃	滝戸 文昭（清 子）	地域住民	〃	二宮 寛美（車 田）	民生委員
〃	小林 正雄（八日市場）	民生委員	〃	伊藤モト子（中之倉）	民生委員
〃	依田 茂（常 葉）	民生委員	〃	望月 和文（西 嶋）	民生委員
〃	木内 孝明（横根中）	福祉団体	〃	松本眞佐子（飯 富）	民生委員
〃	内田 元樹（常 葉）	民間施設	〃	遠藤みゆき（下 山）	民生委員
〃	佐野 一雄（梅 平）	民間施設	〃	山内 寛久（大 島）	民生委員
〃	深沢 泉（切 石）	行政代表	〃	望月 明夫（大 塩）	福祉団体
監事	赤池 義明（西 嶋）		〃	小林 映子（小田船原）	福祉団体
〃	齊藤千代美（常 葉）		〃	高野香代子（切 石）	行政代表

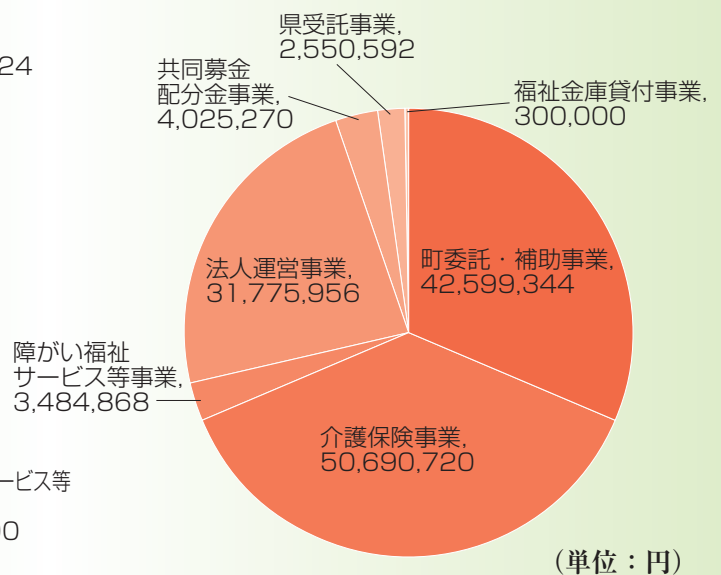
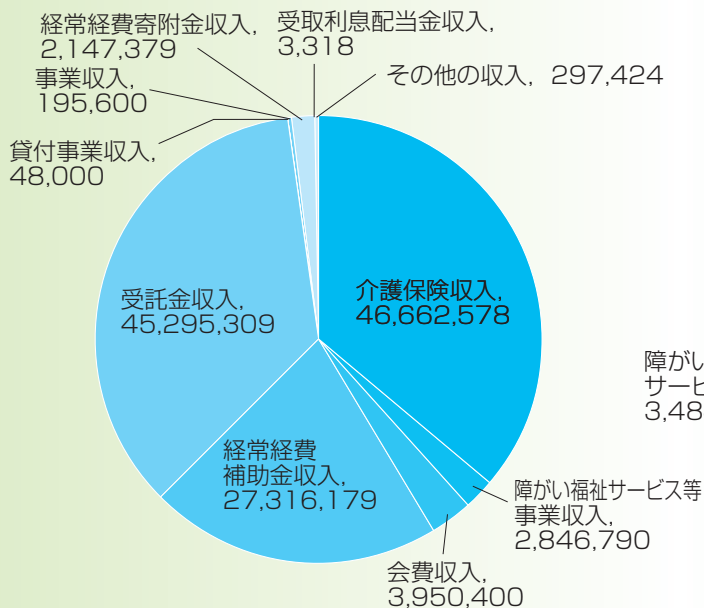
「みのぶ社協だより」は皆様の共同募金の一部で発行しています。



令和4年度 決算

収入合計
128,762,977 円

支出合計
135,426,750 円

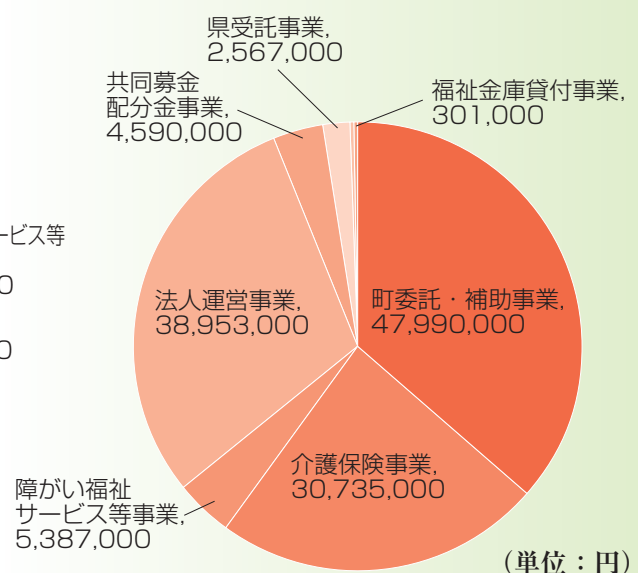
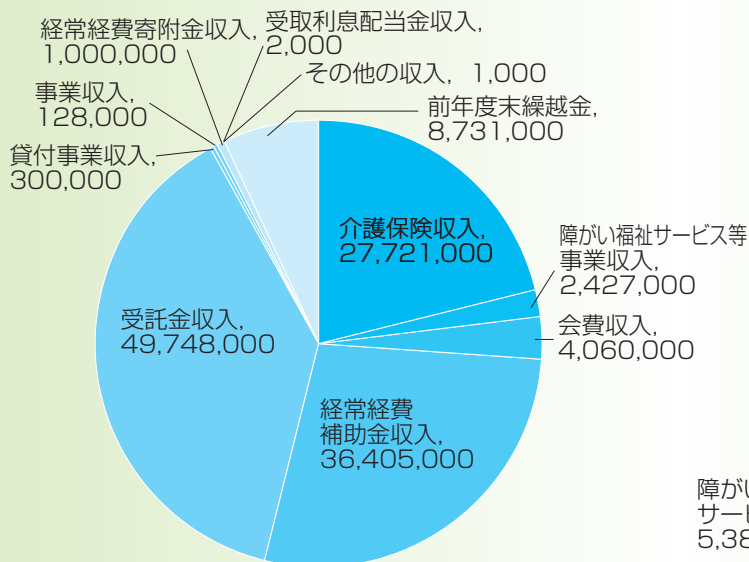


(単位：円)

令和5年度 予算

収入合計
130,523,000 円

支出合計
130,523,000 円



(単位：円)

令和5年度 身延町社会福祉協議会 基本方針(要約)

本町の人口は年々減少しており、歯止めが利かない状況が続いています。また、少子高齢化も全国よりも数歩先を行っているところです。そのため、在宅ひとり暮らしの高齢者世帯や高齢夫婦だけの世帯が増えており、地域における見守りや支え合い、助け合いがより大切な時代となってきています。

これら現状を踏まえ、令和5年度においても地域が抱える課題を地域で解決する共助

社会をつくるために、「日常の暮らしの中で人と人とが支え合い助け合う関係づくり」と「地域の課題は地域で解決できる仕組みづくり」を進めてまいります。

また、住みなれた自宅や地域の中で生活できるよう、社協が運営する介護保険事業や障害福祉事業、受託している諸事業の適切な事業運営に努め、利用者本位で信頼される質の高い福祉サービスを提供してまいります。

令和5年度事業計画（抜粋）

事業推進体制及び 経営基盤の強化

住民のニーズに対応できるよう、事務局体制の充実強化を図るために、役職員による研修会や他団体の研修会に参加します。

また、事業及び経費の見直し、財源の確保等により、経営基盤の強化に努めます。



広聴広報活動の 充実・啓発活動の推進

「社協だより」「ボランティア情報誌（おてんでえ身延）」などにより地域福祉情報の提供に努めます。

さらに、ホームページ等を活用し、広く情報を発信します。

身延町社会福祉協議会 HP
<http://www.minobushakyo.jp/>



ボランティア活動の推進と 社会参加の促進

地域での活動の場づくりを進め、ボランティア登録制度を充実させ、町内におけるボランティア活動が活発になるよう、組織の強化を図ります。

災害ボランティアセンターについては、設置運営訓練を開催し、住民の意識高揚を図ります。



権利擁護事業及び 援護事業の充実

認知症高齢者や知的・精神障がい者の方々が自立した日常生活を安心して送れるよう日常生活自立支援事業により援助します。

また、生活困窮世帯の自立支援を目的に県社協と連携して、各種貸付制度の充実に努めます。



相談事業の充実

専門的見地による相談事業の環境を充実し、「弁護士による無料法律相談」を年12回（月1回）開催します。



共同募金事業の推進

共同募金に対する理解を深めながら募金活動に努めるとともに、配分金は地域福祉の推進に有効かつ適正に活用していきます。



町受託事業の充実

利用者や家族等の声に耳を傾け、より充実した事業が実施できるように努めます。また、事業の目的が達成されているかを検証し、継続的に業務改善に取り組みます。

- ・地域支え合い事業
- ・生きがい活動支援通所事業
- ・配食サービス事業
- ・ホームヘルプサービス事業
- ・養育支援訪問事業 ほか

在宅福祉・介護保険 事業の推進

町の包括支援センターと連携し、安定したサービスの提供に努めます。

また、介護保険事業の効率化と経営改善に取り組みます。



地域福祉事業の推進

地域福祉事業の推進のため、団体や小中学校への講師派遣や金銭助成、小地域福祉活動への助成金交付を行います。

また、さまざまな団体と連携して、地域福祉の課題を解決していくための事業を推進します。



身延町社会福祉協議会 主催 グラウンド・ゴルフ大会

7月21日にグラウンド・ゴルフ大会を開催いたしました。町内各地区から総勢65名が参加し、競い合い、笑い合い、地区を越えての交流を行うことができました。

1位から3位は、以下のとおりです。

1位：望月 明夫

2位：藤嶋太海人

3位：土橋 三雄（敬称略）



身延町 地域支え合い協議会 活動報告

5月29日の第2層支え合い協議会にて、『下部地区では、地域の交流のための拠点を作りたい』という意見が出ていました。その後、7月2日に協議会の構成員も関わりながら、地域交流拠点「みんなの広場」が開設されました。

みんなの広場は、地元有志によって運営されており、運営側も無理なく、楽しみながら活動することを目標とし、地域住民や観光客等、利用者を限定せず、誰でも休憩所として利用することができます。

社協では、生活支援コーディネーターが、このような地域活動をサポートし、推進していきます。

※生活支援コーディネーターとは...

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援および介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす人



「みんなの広場」に集まる地域住民と観光客

『地域支え合い協議会』は、地域住民等が連携して高齢者等の日常生活を支援するための仕組み（体制づくり）を創ることを目的としています。



【お問い合わせ先】

事務局・ボランティアセンター・身延生きがい広場・
居宅介護支援事業所・訪問介護事業所

身延町波木井272-1（身延福祉センター内）

☎0556-62-3773

中富デイサービス（※2023.4.1～休止中）

身延町切石117-1（中富すこやかセンター内）

下部生きがい広場

身延町常葉1093（下部保健福祉センター内）

☎0556-20-3023

町民の皆様からの ご意見をお待ちしています。

身延町社会福祉協議会では、事業の質の向上のため、町民の皆様のご意見をお寄せください。

中富すこやかセンター入口に「ご意見箱」が設置してあるほか、ホームページからもお問い合わせいただくことができます。

⇒「身延町社会福祉協議会」で検索してください！